

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 63 回水化学管理分科会 (P11SC) 議事録

1. 日時 2024 年 9 月 20 日 (金) 9:30～12:20

2. 場所 Webex による Web 会議

3. 出席者 (順不同、敬称略)

(出席委員) 河村 (主査)、室屋 (副主査)、平 (幹事)、梅原、大橋、岡田、杉野、高木、
長瀬、中野_信、鈴木、篠原、莊田 (13 名)

(常時参加者) 宮重、後澤、市橋、菅田、柴田、梅木 (三島常時参加者代理)、長嶺、
前田_記 (8 名)

(オブザーバ) 山崎、佐藤 (2 名)

4. 配付資料

【P11SC63-0】	第 63 回水化学管理分科会議事次第
【P11SC63-1】	第 62 回水化学管理分科会_議事録案
【P11SC63-2-1-1】	新旧比較表体裁確認
【P11SC63-2-1-2】	水化学管理指針-転載許諾対応
【P11SC63-2-1-3】	転載許諾リスト(BWR 水化学管理指針)
【P11SC63-2-1-4】	転載許諾リスト(BWR 分析ーコバルト 60 イオン)
【P11SC63-2-1-5】	転載許諾リスト(BWR 分析ーよう素 131)
【P11SC63-2-1-6】	転載許諾リスト(BWR 分析ー金属不純物)
【P11SC63-2-2】	3 倍量ページ
【P11SC63-3】	2025 春の年会における標準委員会主催企画セッションのテーマ 募集について
【P11SC63-4-1】	2024 年度水化学管理分科会倫理教育
【P11SC63-4-2】	BWR 作業会分倫理教育
【P11SC63-4-3】	PWR 作業会分倫理教育

5. 議事

(1) 本分科会の成立について

河村主査により、委員総数 15 名に対し出席委員は 12 名であり、開催定足数 (10 名)
を満たしていることが確認された。

(2) 第 62 回水化学管理分科会議事録の確認

平幹事より、資料 P11SC63-1「第 62 回水化学管理分科会議事録(案)」について確認依頼があった。分科会終了までに出席者からコメントはなく、承認された。

(3) 各作業会からの報告について

1) BWR 水化学管理指針作業会

宮重常時参加者より、資料 P11SC63-2-1-1「新旧比較表体裁確認」および資料 P11SC63-2-1-2「水化学管理指針-転載許諾対応」に基づき、専門部会書面投票のコメント対応方針や参考文献の取扱いについて協議した。

- ・ 今後予定されている JIS Z 4001（原子力用語）の廃止に対する対応については、学会事務局に問い合わせ中であり、事務局方針に従うこととした。
- ・ 実施基準としても良いのではとのコメントに対しては、制定の趣旨から引用する等、指針である理由を説明する方針とした（実施基準には変更しない）。
- ・ 改定の経緯は新たに追記することとした。
- ・ 指針に記載している図表のうち、NPC2023 のプロシーディング等、一部は非公開のものが含まれている。非公開のものについては、著者や著者の所属団体に別論文で公開されていないかどうか確認する、記載の修正を検討するといった方針で合意した。

2) PWR 水化学管理指針作業会

中野委員より PWR 水化学管理指針作業会における検討状況として、加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針の改定検討状況や加圧水型原子炉二次系の水化学管理指針の改定候補の抽出状況について口頭で報告があった。

- ・ 二次系指針の改定要望として挙げられている補助蒸気系統の水質については、指針本体が二次系主系統を対象としていることから、指針の適用範囲は拡大せず、解説に追記する方針であることを確認した。

その後、前田常時参加者と山崎オブザーバより、資料 P11SC63-2-2「3 倍量ページ」に基づき、事前に実施した 2 回の協議内容や試料採取配管のページに関するモデルの見直しについて説明があった。

- ・ 何れのモデルも 3 倍量の妥当性を示すことができるものであり、説明性を補強する観点から両モデルを記載することで合意した。
- ・ 読み手に対象はイオン状であり、粒子状（クラッド）は含まないことを明記することとした。
- ・ なお、試料採取配管のページについては、WANO のエクセレンスガイドラインにおいて要求されているものであり、PWR および BWR 双方で実施されているが、具体的に 3 倍と指定されているものでもないため、3 倍量を要求事項と捉えられ

ないよう、文面には配慮することとした。

- ・ BWR の指針には直接記載せず、PWR 1 次系指針を引用する方針は変更しないこととしたが、次回改定に向けた課題は解説に記載することを検討することとした。

(4) 2025 春の年会における標準委員会主催企画セッションのテーマ募集について
時間の都合により、次回の分科会で協議することとした。

(5) 倫理教育の結果について

平幹事より、倫理教育結果について報告があった。未提出の意見については、9/E の期限に間に合うように提出するよう依頼があった。なお、分科会から提出する意見については、学会事務局からの要求が受講総数と各意見であることから、受講者や受講日は記載せず、個人が特定されないよう配慮することを確認した。

(6) 今後の予定

次回のシステム安全専門部会の日程（11/7）を考慮し、10/25（金）9:30～ とした。

以上